

公益社団法人 茨城県作業療法士会
令和3年度 第3回理事会 議事録

令和4年3月10日19時10分、Web会議ツールZoomによるWeb会議において、理事20名、監事2名出席の下、第3回理事会を開催し、下記議案に付き全員一致をもって可決確定の上、21時00分散会した。

日時：令和4年3月10日（木） 19：10～21：00

インターネット会議システムZoomを使用し、Web会議形式で実施。

出席：（理事）大場、小森、山倉、笥、細田、荒井、浅野、後閑、田中、田口功、大津、田口智、
稲葉、唯根、柘植、小山、磯、栗原、木口、松本 20名

（監事）西、水野

（書記）松本

（欠席）寺門、服部、幸野、新堀、岩本、坂本 6名

【I 審議事項】

1. 令和4年度予算案（最終案）と事業計画の確認について

（財務部 後閑部長・総務部 松本部長） → 一部修正の上承認

<審議内容>

- ・令和4年度予算案の承認について、今年度の実績を確認しながら次年度の年会費も含めて相談したく議案を提出した。
- ・令和3年度の事業をすべて完了した見込みで会計社に試算していただいたところ、遊休財産額と公益目的事業費率が達成していないため、県へのロードマップの提出が必要となった。
- ・次年度の事業計画をすべて実施できた場合、公益認定基準は達成予定だが、今年度のように実施できない事業が増えると、次年度も公益認定基準を達成できない可能性がある。そのため、余裕をもって公益認定基準を達成できるよう追加事業のご相談をさせていただいた。
- ・追加事業を加えたことで、対面式の公益事業が中止・縮小となってしまった場合でも次年度の公益認定基準を満たすことができる見込みである。
- ・遊休財産額の改善のため、会計社と連携しながら、年会費「8,000円」「7,000円」「6,000円」の3パターンで検証した。
- ・会計社からは専門的な視点から6,000円継続か、7,000円が良いとご提案いただいたが、遊休財産額の急激な減少に伴い、有事（震災等）や新規事業立ち上げ等の際に対応できなくなってしまう可能性が生じるため、経済的な余裕も必要と考えた。
- ・追加事業に関して次年度の事業計画書にも付け加えた。

<審議結果>

- ・健全な遊休財産額になるよう試算した結果、年会費は7,000円に決定。
- ・会員に対し、7,000円に決定した経緯に関して情報提供を丁寧に行う。
- ・紙面で会員に郵送する。
- ・年会費関連の情報は、ホームページのトップ画面に表示されるようレイアウトの変更をする。
- ・予算案、事業計画については一部修正の上承認された。

2. 総会の開催方法について （総務部 荒井副部長） → 一部修正の上承認

<審議概要>

- ・令和4年度より代議員総会となるため、総会開催までの案内や実施方法について確認したい。

<審議結果>

- ・開催は昨年同様事務所を会場としZoom使用でのハイブリッドで開催とする。代議員総会となるため、議長は代議員から選出し議事録署名人2名が必要となり今後依頼していく。
- ・通信回線が不安定となった時のために、共同ホストを設定しておき回線が途切れた時の対応を行っておく。

- ・代議員総会開催について今後代議員への連絡を行う。3月中に簡単な開催案内を事務局より郵送する。
- ・総会議案書が完成次第（4/29の会計監査後）総会議案書・出席通知・委任状・議決権行使書を代議員へ郵送する。総会開催案内も郵送し、ZoomのIDもお知らせする。郵送は、庶務部対応とする。
- ・出席通知書にて、代議員の参加はFAXでの書面にて確認となる。
- ・一般会員への総会開催と参加申し込み（傍聴のみ）の連絡については4月中に郵送にてお知らせする。Googleフォームにて参加申し込みを行う。Zoomの接続確認は実施せず、入室方法の案内のみお知らせする。

3. 休会届けの承認について（総務部 荒井副部長） → 承認

<審議内容>

- ・3月1日時点で11名の休会届の提出があった。承認について確認したい。

<審議結果>

- ・異論無く休会について承認。

4. HP 掲示方法の変更・県士会長賞について（庶務部 磯部長） → 継続審議

<審議内容>

- ・暫定的な年会費のホームページの変更についてトップページに年会費を確認できるようにしたい。
- ・ホームページの刷新案予定、一般の方や会員等が見やすくなるよう変更のレイアウトの打ち合わせを進めている。
- ・県士会長賞に関して茨城県県立医療大学の山本知歩さんとアール医療福祉専門学校の岡山朋代さんになった。

<審議結果>

- ・ホームページに関しては継続審議。
- ・県士会長賞は異論なく承認。

5. 協会・士会説明および入会促進事業について（広報局 山倉局長） → 継続審議

<審議内容>

- ・47委員会でも話し合われている。協会・士会員が伸びず悩んでいる。教員や協会・士会理事の養成校学生への説明は始まっており、先日協会から説明資料が出た。
- ・その中で協会から「先輩からのメッセージ」という項目があり、協力可能な都道府県士会を募っている。
- ・入会促進事業について担当部局をどこにするかを検討したい。
- ・会員数が約1000名から増減がないことから今後、養成校などにも情報提供する必要がある。

<審議結果>

- ・養成校へのプレゼンに関してはチームを組む必要があるため、啓発部を中心に進めていく。また、茨城県内は養成校が2校のため、協会理事へは依頼しない方針。
- ・啓発部を中心に「先輩からのメッセージ」にも協力する方向で進めていく。

6. Zoomの使用範囲について（総務部 荒井副部長） → 継続審議

<審議内容>

- ・現在Zoomの使用にあたり、理事・CDが使用予約を行い県士会業務で使用している。県士会業務とは別に県士会員が自主的に勉強会を開催しているケースがありZoomの使用範囲を広げて良いか検討したい。勉強会には、30~40名程の県士会員が参加している。

<審議結果>

- ・使用者、利用目的、参加人数などの使用申請書を作成する。申請書を提出していただき、県士会で使用許可を判断する。

【Ⅱ報告・連絡事項】

1. 市民公開講座の報告 (市民公開講座運営部 大津部長)
 - ・認知症のテーマで無事実施することができた。46名の方が参加していただいた。
 - ・後日、会員・非会員の確認を行う。
2. 公式LINEについて (宣伝部長 小山部長)
 - ・LINEWORKSでの運用を検討している。
3. eスポーツに関する意見交換会 (地域貢献局 細田局長)
 - ・2月7日に茨城県産業政策産業政策課と茨城県社協とEスポーツに関する意見交換を行った。
 - ・県内でeスポーツを進めるためにモデル事業的に高齢者事業所で協力していただきたいと相談があった。
 - ・県士会としては今後も協力していく。
4. 代議員選挙について (法人対策委員 荒井委員長)
 - ・代議員選挙は、定数内の立候補であり選挙を行うことなく代議員が確定した。今後選挙管理委員より会員へ選挙結果の告示を行っていく。

以上